

あとがき

山川 清太郎

第23回関西フランス語教育研究会（ランコントル）は、3月27・28日の両日にわたって大阪日仏センター＝アリアンス・フランセーズで開催され、112名もの参加者を迎えて無事に終了することができました。ランコントル開催を支えてくださった皆様にお礼申し上げます。

今年のランコントルでは「Production ou reproduction 創造か模倣か」、「Langue et culture 言語と文化」を主要テーマとした計24のアトリエが開かれ、活発な研究発表や質疑応答がなされました。今年は京都大学で在外研究中の Henri BESSE, Véronique CASTELLOTTI 両氏をお招きし、TABLE RONDE、ATELIER-CONFERENCE ではパネリスト・参加者が活発な意見を交わすことができました。また昨年度と同様1日目の午後には出版社プレゼンテーションの枠を設けました。新たな教材を目にする絶好の機会になったと思います。

第23号となる本論集には、アトリエでの発表内容を中心とした計14本の論考が寄せられました。多忙な時期にもかかわらず論考をお寄せくださった執筆者の皆様には感謝いたします。

昨今の不景気による補助金の減額から、ランコントルも経費削減を行うことになりました。対策の1つとして、今年度よりアトリエのレジュメを記したプレアクトの郵送を廃止し、ホームページに掲載することにいたしました。本件で多くの参加者にご迷惑をおかけしましたことを心からお詫び申し上げます。

ランコントルの最新情報、過去のアトリエテーマ、論考などの情報はホームページ上 (<http://www.rpkansai.com/>) に掲載しております。どうぞご覧ください。またご意見・ご感想がありましたら、私たち運営委員にお教えいただけたら幸いです。